

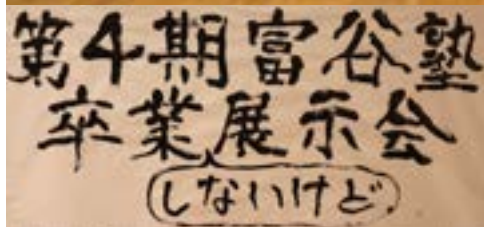
第7回定例富谷塾



3月19日、第4期最後の定例富谷塾が市役所で開催されました。

今回のテーマは「振り返る、前を見る」。この一年の活動を、塾生の感想を交えながらスライドで振り返りました。また、自分が成長したと思うことやチャレンジしたことを塾生同士でシェアしたり発表したりしました。

2階の展示ホールでは、富谷塾の各プログラムを利用して起業した塾生も含めた約13名がそれぞれの事業や商品を紹介する卒業展示会が行われました。塾生たちは展示物を見て回りながら交流しました。



おためしイノベーション富谷

おためしイノベーション富谷（通称：OIT）とは、「行政・民間企業・住民（富谷塾生等）」の協働により、行政課題や地域課題に対して民間のサービスやテクノロジーを活用し、最適な解決策の検証を行う事業です。

現在は各課と応募企業とのマッチングが終わり、実証実験に向けて面談を重ねているところです。各課の実証実験は4月～6月に予定しています。



塾長ミーティング



第4回目となる今回も4名の塾生が参加し、塾長である若生市長から貴重なアドバイスをいただきました。

参加した花農家の佐藤敏充さんは、富谷市役所や市内各所に花を植えて市民の気持ちを明るくしたいと考え、市長に思いを伝えました。「提案内容の実現はこのままでは難しそうだったものの、違う形でのアプローチ方法をアドバイスしていただいた。また結果よりも、自分のやりたいことを市長に直接伝えたり、意見をいただけたこと自体がとても貴重な経験だった」と話してくれました。